

世界大会へ施設を拡充

党愛知
県議団

海陽ヨットハーバーを視察



ヨットハーバーの施設拡充について話を聞く党愛知県議団(右側6人)

公明党愛知県議団(渡会克明団長)はこのほど、今年10月に開催されるヨットの世界大会・セーリングワールドカップの会場となる県の施設「豊田自動織機海陽ヨットハーバー」(蒲郡市)を訪れ、同施設の概要や今後の機能強化について調査した。

同施設は主にヨットレースや、初心者も気軽に参加できるヨット教室などの会場として利用されている。ワールドカップが日本で開催されるのは初めてで、県は同大会を通じた地域の活

性をめざし、施設の拡充を進めている。

具体的には、ミーティングなどに活用できる会議室を備えたクラブハウスや、ヨットに乗り降りする際に使う浮棧橋を新たに設置する。障がい者種目もあることから、浮棧橋は車いすが通れる幅を確保するなどの工夫を施す。

県議団は説明を受け、各施設を見て回った。渡会団長は「自然に恵まれた素晴らしい会場。世界大会が地域の活性化につながるよう後押しする」と話した。